

* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は、その他サービス業で悪化傾向を弱めました。一方、娯楽業、自動車整備・駐車場業、情報サービス・調査・広告業で大きく悪化傾向を強め、旅館・その他の宿泊所業、洗濯・理容・浴場業でも悪化傾向を強めたため、全体としては-54と6ポイント悪化傾向を強めました。売上額、収益はともに悪化傾向を強めました。価格面では、料金価格はわずかに下降傾向を強め、材料価格は若干上昇傾向を弱めました。資金繰りは窮屈感を強めました。残業時間は若干減少傾向を弱め、人手は過剰感が弱まりました。設備の状況は不足感を弱めました。設備投資については、機械設備の新、増設を中心に32%と前期比3ポイント増加しました。

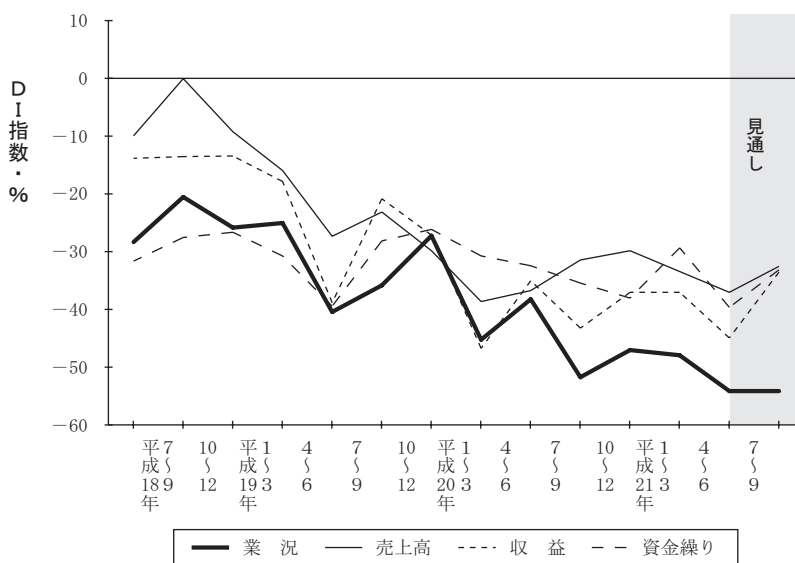
来期の見通し

業況は、洗濯・理容・浴場業、娯楽業、自動車整備・駐車場業、情報サービス・調査・広告業で悪化傾向を弱めるとみています。一方、旅館・その他の宿泊所業、その他サービス業では悪化傾向を強めるとみており、全体的には横ばいとなりそうです。売上額、収益はともに悪化傾向を弱めるとみています。価格面では、料金価格は下降傾向を弱め、材料価格は上昇傾向を若干強めそうです。資金繰りは窮屈感が弱まるとみています。残業時間は減少傾向を弱め、人手は過剰から不足感に転じそうです。設備の状況は不足感が若干強まりそうです。設備投資については機械設備の新、増設を中心に21%の先が実施予定としていますが、今期に比べて11ポイント減少するとみています。

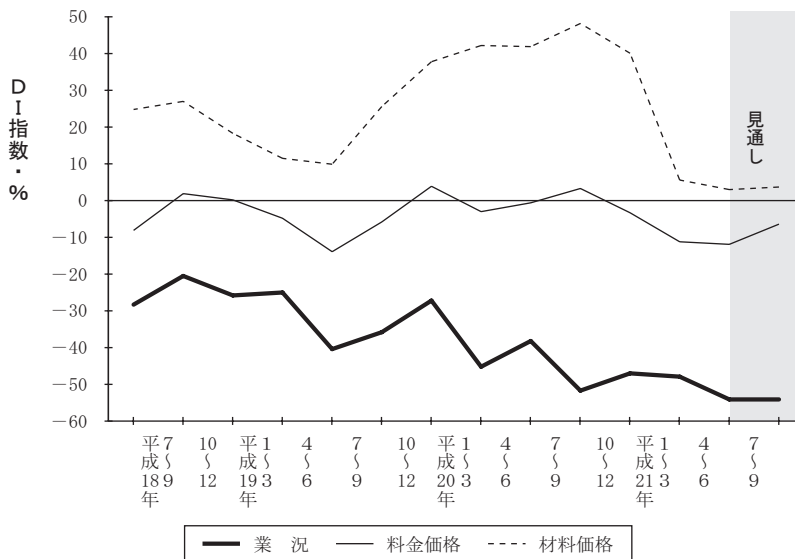
調査員のコメント

- 季節、天候の影響もあるが、現状は無難に推移している。(旅館業)
- 経営安定している。仕入価格の値上げに伴い、商品価格も値上げしたものの、大きな変化はみられないとのこと。(葬祭業)

景況の推移

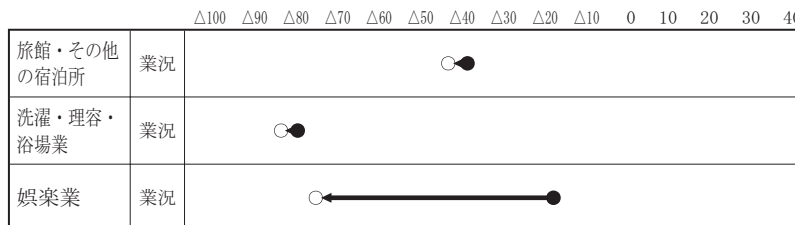


主な指標の動き



業種別業況判断DIの推移

今期(21年4月~6月) / 前期(21年1月~3月)



経営上の問題点	1位	売上の停滞・減少(1)	61%
	2位	同業者間の競争の激化(2)	42%
	3位	取引先の減少(4)	21%
	店舗・設備の狭小・老朽化(7)	21%	

当面の重点経営施策	1位	経費を節減する(1)	69%
	2位	販路を広げる(2)	42%
	3位	技術力を強化する(4)	24%
	教育訓練を強化する(3)	24%	

*()は前回順位